



# 「2020年春」を活かす

## 巻頭特集



「熊谷なないろ食堂」で食事をする子どもたち。栄養バランスも考えて作られている。この日のメニューは「鶏の唐揚げ」

前号巻頭熊谷Miyukiに「ぎやかに」と書いたとたん、「一気に加速した新型コロナウイルス(文中「コロナ」と略記)禍」。不気味に広がる不安の中、4月号巻頭特集は当初の予定を、この史上まれにみる危機のレポートに変更する。状況は先行き不明だが、東京五輪延期発表翌日、3月25日時点での情報だ。

(取材・文 小林真 ※コメントは抜粋・編集しました)

「学校が休みで」最初はうれしかったけど、今はやることなくてヒマ(小宮男子) 熊谷市内小学校で卒業式が行われた24日午前中、石原「熊谷なないろ食堂」。お母さんが買ってくれた4年生向け算数問題集に取り組み彼のほか数名が、学生ボランティアといっしょに勉強したり遊んだりしていた(表紙画像)。子ども食堂・カフェを展開する同食堂は、コロナ休校が始まってから仕事している親の助けになればと小学生を対象に昼食付500円で日中開放が続いている。

この日も久下小や成田小区といった離れた地域からの子どももいて、親の仕事に合わせた利用時間で思い思いの時間を過ごしていた。3人が参加の学生ボランティアは、通常の夜の子ども食堂のボランティア常連でもある。「いつもの子ども食堂とは違って、じっくり子どもたちと過ごせます。どんな仕事に就くにして

も、この経験はきっと役に立つでしょう」(立正大社会学部3年生) 今月、いたるところで繰り返された「たいへんなことになりました」「どうなるんでしょ」というセリフはまったく聞きたくない。子どもも若者も調理の主婦も午前中は勉強、午後は遊びという「自分のやること」を自らのペースでたんとこなす。「助かるよっていつてもらえるのがうれしいですね」(代表山口純子さん)

「子ども3人と主人が同時にうちにいることになって、食事の用意がたいへんで、わたしのストレスになりました」(銀座のMさん)。「コロナがきっかけで導入する企業が多かったテレワーク。システムエンジニアとして豊洲に通う、Mさんのご主人も「コロナレジャー」の入りだ。

「電車に乗らなくていいのがいい。よくないのは子どもにも仕事をじゃまされること、っていつてました」(同)。東京通勤圏の最外といわれる熊谷地域。通勤時間の長い分だけ、テレワークの恩恵は大きい。Mさんのご主人は、「きちんと着替えて、部屋をバシッと閉めてやつてます」。

● ● ● 「①無症状で誰が感染しているかわからない、②検査できず自分が感染しているかわからない、③感染しても薬がない」(銀座のSさん)が周囲の何人かにかいた「コロナの何がこわいか？」を紹介してくれた。だ

から「通勤の電車で、臆病なのでシートに座れなくなりました。考えすぎかもしれませんが、感染して他人に迷惑をかけてしまうのも怖いので難しいですね」(かきつぶ@KUMAGAYALIFEさん)と、みえない・わからない不安は重なる。その不安が爆発したのが、トイレトベーパー、マスク騒動。しかし、ここ10年くらいの手づくりブームが対抗手段となった。「締切間際の仕事の途中につくりだしちゃったWガーゼフリーツマスクがひっぱりだこ。自分のシブブSのS/S/Sで販売することになりました。でも、今はこの生地屋さんもWガーゼが品薄状態。マスク用のゴムも品薄で、髪ゴムや毛糸を代用されている方もいるみたいです」(重症心身障がい児家族の会「にじいろの」すずともさん)。

● ● ● 「いつもは借りてくれ借りてくれてという銀行が、返せるお金があったら返してくれというほど」(埼玉中小企業家同友会さくら地区会・会長・西山英行さん)。経済の打撃は大きい。「公共事業主体のうちはずくにダメージはないけど、税収が減ってくる来年度以降はきびしくなるね」(同)と影響は業界による長引きそう。

コロナの影響で忙しくなったというのは、害虫駆除、ハウスクリーニングの市内の業者。保育園、高齢者施設などの消毒の仕事が増えた。「番舎のクリーニング」すずともさん)。

「ワールドカップからせうかく盛り上がりつついたラグビートップリーグははじめ熊谷でも、大小イベントが続々中止。そんな中、「伝えたいこと」として熱いメッセージが届いた。「毎年3月埼玉県のかるた大会。桜木小、三尻小の子どもたちの年末年始を通しての猛特訓も、コロナで大会中止。「君たちの努力は優勝に匹敵、いや、それ以上」と伝えたくて、イラストをプレゼントします(かるた大好きナイスおじさん) イベント中止の波紋は大きい。「小さなイベントたちは大切な収入源。イベント早く復活して…コロナ消えてくれ！イベントないと、太ってしょうがない」(満願堂・中野智代さん)というように関連業者の売上は落ちている。そんな中、ラグビー合唱団などで意気上がるウスキングベール白井梓健さんは、営業を続ける他店に出張販売する「積極的ドライブスルー」を開発。「予定外の困難が多く起るけど、それを乗り越えるために想像以上のアイデアが生まれる。どんなことも前向きに乗り越えていきたい」と語る。

買い物では、「5才の息子の幼稚園も休園。外出もショッピングモールのような人の多い場所は控えようと、お散歩もかねて近所の個人商店に行く機会が増えました。絵本で見たばかりの菜の花やピンク色のお花に「桜かな？梅かな？」と近づきながら買い物。自分でお買い物したいと、何度も「豚肉1キロください」と練習しながら歩き、練習の成果を見せてお店の方に「えらいね」といつてもらったり。あたたかく迎えてくれる個人商店でのお買い物を、日常に取り入れていきたいなと思えました(ゆるいてんちちゃん)という声も届いた。

● ● ● 「未知の脅威に直面したときほど、人間としての底力が試されると改めて感じています

す」というひびのめくみさんは「信頼できる人に会う、規則正しい生活を送る、適度に体を動かす、メディア(マスク) SNS などを見過ぎない」を実践して「比較的心穏やかな日々を送っている」といつ。

「元氣な人は、ストレスになるほど心配しないで、最低限の注意をしながら元気に過ごしたら良いと思っています。わたしも続けてきたイベントを28日に十分な対策の上で開催するし、93歳の父はどの道いつかは寿命がくる。自粛しているうちに人生が終わったら後悔すると旅行の予約をしました」というのは前出・銀座のSさん。「3月11日、マスク、ウエットティッシュ持参で「Fukushima SO」を觀賞しました(ういっ)押切橋さん、「1時間おきの、手洗い・うがいの全国運動」を始めたばかりのSNSで呼びかける、幼児にボール投げをおしえる熱いぞ！熊谷からの野球教室の長濱茂雄さん、「ごみ回収ストップや外出制限にも、生ごみを家庭で堆肥に変えるダンボールコンポストが有効」とふだんから取り組む普及活動をすすめるハチドリくらぶの白倉俊也さんからもメッセージが届いた。家族でいつも行っている昆虫の森や動物園が休園だから行った大胡電車庫見学が楽しく、「いつもやってないことで新たな発見がうまれるかも。ピンチはチャンス、コロナウイルスで進化しましょう」(前出・かきつぶさん)。そうやって過ごす危機の中、SNSで「たっくさんの卒園、卒業する方の笑顔の投稿をみて、当たり前の幸せをありがたく思っています！」(みきさん)という風景がみえてくるのかも知れない。

この1月に待望の男の子が生まれて父親になったばかりの俳優・依田哲哉さんは、今はまだ3か月の息子に将来こう語

「東京から帰って来て新しい仕事を始めた次の年、君が生まれて来てくれただけで感謝でいっぱいだったよ。多くは望まない。呼吸や鼓動といった基本的な生命活動を停めることなく生きてくれさえすればいい、という想いを込めて「いぶき」と名付けた。生まれて最初の春に「コロナ」って病気がはやってみんなが不安でしかたない時、そうだ、やっぱりまず生命だ、「いぶき」だと思っ直したんだ」

最後に、障がいのある次男と過ごす自宅に「みんな不安だけど、出来ることをやって元気が過ぎまじょう。みんなでお話合って自治会の防災グッズを必要なお宅に配布することにしました」と自治会防災担当者が訪れ、マスク20枚を譲ってもらったナニヌネノさんのメッセージを紹介しよう。「不安は自分の心が決める。地域の方々の思いやりで、わたしたち家族はマイナスばかりにとられず一人ひとりができることをやっていく大事な、困った時は助け合う大切さをおしえていただきます。未だコロナに対する危機感はまだませんが、毎年大輪の桜を見るたびに、私は「コロナの恐怖より人の優しさ」を思い出さず。そして息子たちには、自分たちが受けた優しさを忘れず困っている方がいたら手助けできる人間に育ててほしいと思います」

● ● ● 「一年でいちばん見事なさくら熊谷は、「みえないトンネル」の中で迷っているように。だが目を凝らせば、今までみたことのない美しい人々の心がかくれている。信じよつ、考えよう。これからの熊谷とわたしたちのこと。」

### 熊谷とその周辺、新型コロナウイルス関連の動き

2/27	全国	政府が全国の学校に臨時休校要請 中止発表	熊谷さくらマラソン
2/28	全国	日本家庭紙工業会「トイレット・ティシューペーパー供給力、在庫十分」と発表、SHARP「マスク生産開始」と発表 中止発表	高校女子サッカー「めぬまカップ」
3/2	臨時休校	熊谷市内の小中学校。近隣では群馬県太田市が小学校の休校見送り 中止発表	高校選抜ラグビー、熊谷さくら祭、美術展
3/3	●	熊谷市内の児童館が臨時休館する一方で、東松山市・鴻巣市の小学校では日中の児童受入れを実施	
3/5	発症確認	熊谷市内の県農業技術研究センター職員(60代男性、行田市在住)。武漢からのチャーター便以外では県内初 臨時休校	深谷市内の小中学校 中止発表
3/6	発症確認	熊谷市内の県農業技術研究センター職員の妻(60代)と娘(30代) 臨時休校	ラグビートップリーグ第7・8節(3~5月予定)
3/7	発症確認	太田市内の保育所勤務保育士(40代女性)。勤務先保育所も2週間休園 臨時休校	農業技術研究センター職員の妻が三味線教室に参加した中央公民館
3/9	運休発表	太田市営無料バス(3月10日~26日)	
3/11	中止発表	選抜高校野球	
3/12	●	熊谷市内公共施設が臨時休館で窓口業務のみ 発症確認	太田市のパート従業員(60代女性、保育士の母)、大泉町内の病院勤務の看護師(60代女性、太田市在住)
3/13~16	●	行田市、深谷市、熊谷市中学校卒業式 規模縮小での開催 発症確認	エジプト・ナイル川クルーズに参加した夫婦(60代男性・50代女性、共に深谷市在住)、ダイヤモンド・プリンセス号に乗船の男性(60代、熊谷市在住)
3/17	●	熊谷市気象台より桜の開花宣言	
3/18	●	熊谷市内の一部施設を3月下旬・4月上旬から開館と発表	
3/19	●	休園していた太田市の保育園が再開 中止発表	ジャパニャラグビートップリーグ2020全節、パナソニックメンバー他がSNSで声明発表
3/23	●	東京五輪延期発表。文科省が小中学校・高等学校の通常通り新学期開始できるよう準備を要請 ●	熊谷市の公共施設は4月30日まで休館延長が決定 ● 立正大学が授業開始日を4月27日に。他大学も留学生を考慮し、開始日を延期 ● 各市の小中学校卒業式 実施
3/24	●	第31回埼玉県消防操法大会出場に伴う結団式(規模縮小)	
4/5	●	通常通り小中学校授業開始(予定)	
4/8	●		

作成協力:望月友貴(NPOくまがや)